

「金城哲夫のふるさと 沖縄・南風原町脚本賞」を舞台化！

南風原町劇団海 第3回海開き

くるがにぬゆ

— 鉄ぬ世 —

原案 近本 洋一 / 脚本・演出 仲座健太(南風原町喜屋武出身)

2021 1/24日 14:00開演
[13:30開場]

場所：南風原町立中央公民館 黄金ホール **全席自由**

【入場料金】一般1000円 高校生以下500円(学生証提示)【定員】160名(要予約)※感染状況によって定員数に変更あり

【お問い合わせ・ご予約】南風原町観光協会 TEL098-851-7273(9:00~17:00土日・祝日休)

はえばる観光案内所 TEL098-882-6776(10:00~15:00水曜休)

※年末年始(R2年12月29日~R3年1月3日)は、お休みです。
※新型コロナウイルスの感染状況等により、変更・延期又は中止とさせて頂く事があります。

YouTube 生配信

南風原町観光協会

検索



14:00~無料ライブ配信もします!!



主催：南風原町観光協会 共催：南風原町、南風原町教育委員会、南風原町商工会、南風原町社会福祉協議会

ウルトラマンの脚本家 金城哲夫のふるさと南風原町住民会議

後援：南風原町PTA連絡協議会、南風原町青年連合会、南風原町老人クラブ連合会、

島尻青年会議所、琉球新報社、沖縄タイムス社 協力：FECオフィス / 劇団「海」運営委員会：お祭り酒場一笑懸命笑撃的、たけ事務、みなみ印刷



あらすじ

人々の生活になくなくてはならない「鉄」。
 今から約800年前、その「鉄」が沖縄に伝わったとされるグスク時代。人々の生活は劇的に変わり、豊かになっていった。それから時を経て、沖縄戦。悲しい歴史の中でもやはり「鉄」は必要不可欠なものとして存在していた。そして、現代。もはや当たり前にある「鉄」。いつの世も「鉄」は「鉄」として変わらずに存在する。それを扱う人間次第で「鉄」はいかようにも姿を変えていく。「鉄の世」は過去から現在へと、繋がっていく。

「鉄」を通じて、変わっていくものと変わらないもの、そして南風原の芸能と、劇団「海」。メンバーの個性あふれる魅力。全てを詰め込んだ、お楽しみ袋的なお芝居となっています。

マンチャーピンチャーして、コメディで、お笑いたっぷりに色んなものをお見せしますので、ヤーニンジュで遊びに来て頂ければこれ幸いです。

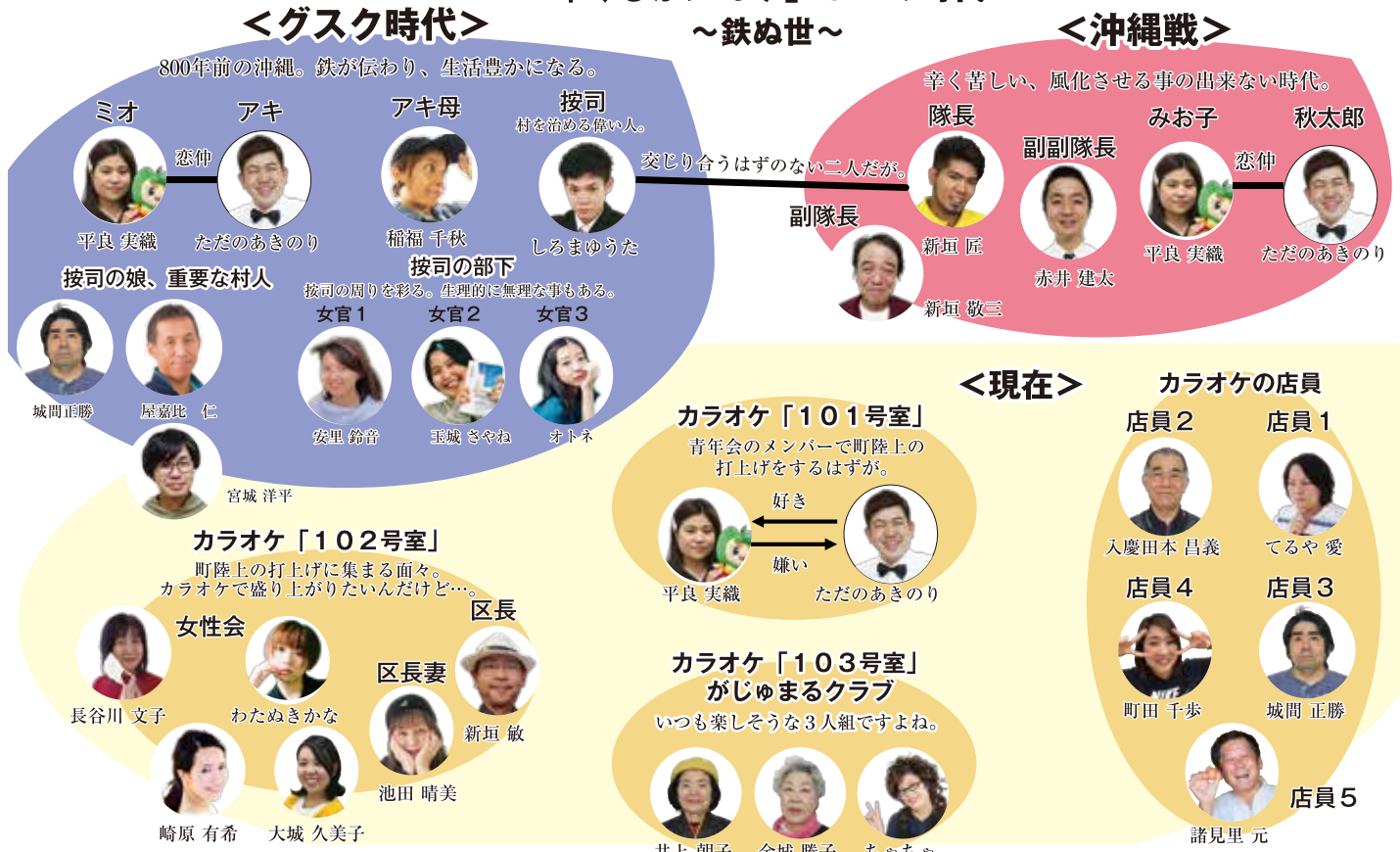
新メンバーが加わり、ますますパワーアップ！

駐車場に限りがありますので、ぜひお早めのご来場、よろしくお願いします。開演時間に家を出る、ではなく、開場時間に間に合うように、アワティーハーティーして来て下さいね！ (上演時間：約90分)



「くるがにぬゆ」3つの時代

～鉄ぬ世～



※出演者が一部変更になっています。ご了承下さい。



この舞台は、2017年に「金城哲夫のふるさと沖縄・南風原町脚本賞」に受賞された作品『鉄ぬ世』の原案をもとに、海の団長 仲座健太さんが、劇団海らしく、コメディ+南風原色を織り交ぜ、新たに脚本・演出しています。

南風原町の色んなお話や、南風原町の伝統芸能も映像出演するなど、南風原町の魅力が沢山詰まっています。

私も少しだけ出演します。あたたかく見守って頂きたいです。宜しくお願いします。

コロナの影響により、ずっと延期になってきました劇団「海」の舞台ですが、黄金ホールでの舞台公演に加え、今回初めて、ライブ配信という取り組みを実施致します。南風原町・町外・県外・世界へと発信し、幅広く沢山の方々に観て頂ける期待と、また県外・世界で頑張っている南風原町出身そして沖縄県出身の方々が、この舞台をご覧になって、沖縄の海を感じ「ふるさと」の事を思い出して頂けたら大変嬉しく思います。

当協会では、町の魅力を発信するため地域の皆さまと連携をしながら様々な事業に取り組んでいます。劇団海の公演もその一つです。

今回の公演にあたり団員をはじめ、映像出演して下さいました照屋青年会さま、兼城古典保存会さま、宮平獅子舞保存会さま、そして地域の皆さま、ご協力頂き本当にありがとうございました。

皆さまのご協力により、こうして公演を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

今後も、当協会では、地域の皆さまと一緒に明るい活気ある町づくりに励んで参りますので、変わらぬご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

それでは！新たなメンバーも加わり、更にパワーアップした元気いっぱいの劇団「海」の舞台をお楽しみください！

南風原町観光協会 会長 諸見里元

沖縄と言えば「海」ですが、南風原町は県内41市町村で唯一、海がありません。「あんしゅ〜、海がないんだったら作ればいいさ〜。そして、その海に人を集めよう！」

そういうコンセプトで2018年に旗揚げした、南風原町劇団「海」。メンバーも一回目から参加してくれている方がほとんどなのですが、今回新たにオーディションをし、さらに個性豊かな面々が入団してくれました。それぞれの良さを120%感じてもらえるようにするにはどうすればいいか、どう脚本に反映させるかというのを考えていると、僕自身が刺激になり、とても勉強になっています。

自分たちが生まれ育った町に誇りを持ち、他の市町村の方から「南風原町って何があるの？」という話題になった時に、南風原の人が「海があるよ」と言ってもらえるように、そしてそれを聞いた他の市町村の方が「は？南風原に海があるの？」と南風原に興味を持ってもらえるようになりたいと日々頑張っています。

ですが、旗揚げしてまだ4年。人間で言えば、ようやく言葉を覚え始めた状態です。

最低でも10年続けて、その後なくてはならない南風原の特産品の一つになれるようにもっと頑張っていきたいなと思っています。

「海」を応援して下さる南風原町の皆さん、そして南風原町観光協会の皆さんに本当に感謝感謝です。

今後とも劇団「海」をよろしくお願い致します！

まあ、お芝居の方は、そんなこんなは何も考えずに、ただただ笑って下さればありがたい限ります。

コロナのせいで、昨年2度延期になった舞台。ようやく、ようやく！お客さんの前で披露する事ができます！ライブ配信という新たな表現も加え、新メンバーが加わり、結果、パワーアップした舞台になりました！

南風原町劇団「海」第3回目の海開きです！

劇団「海」団長 仲座健太 (喜屋武出身・FECオフィス)